

ちょっといい山 2017/0416/SUN

## 花と蝶の山・小塩山 642m

山の虫クレマントクラブ（略称 YMCC） 川原健一 同行：川原薫・瑞恵

小塩山は京都府南部に位置する標高642mの小さな山である。時期になると、ここにカタクリの花が咲き乱れることは興味を示す人たちの間ではつとに有名であり、これを求めて私も登った。今年の花の時期は例年よりも1週間ほど遅いか？

車なら駐車場（400円/日）を山麓の大原野神社（京都縦貫自動車道大原野ICからすぐ）に求めることができる。近くには花の寺なる寺院もあり、今回は時間がなかったが、花の時期は期待できそうだ。

駐車場から舗装道路を歩き、名神高速を潜る。しばらく行き、小塩山から派生する東の尾根の末端に取りつく。宅地に入っていきような判りにくい道だ。小さなブッシュを抜けると竹林に出る。その中の道を進み、交差点で右へ逸れ、谷筋へ入っていく。山桜が満開だ。地図に道はないが、この谷筋を尾根上の車道まで突き上げたいと思ったのが間違いだった。歩きやすい道を2、3回見送り、あくまでも谷筋を進むと足元は杣道状を成し、植木の枝打ちで小枝が散乱し、歩きにくい。谷筋をあきらめて北側の車道に出ると、登山道が交錯する場所だった。小休止し、汗を引かせる。最初からこの道を歩けば良かったのだ。

快適な尾根を歩いてゆくと、ほどなく車道を渡る。やがて平たい主稜線に出た。少し歩くと、右手の谷筋で賑やかな声がある。そこがカタクリの群生地だった。



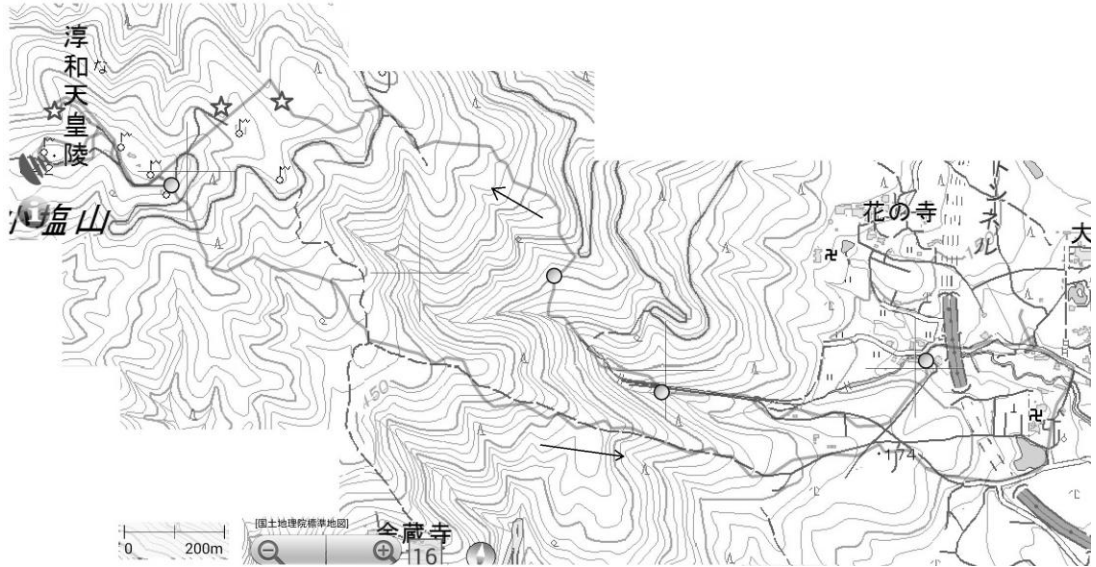
花は丁度適期のような。けれども人はそれほど多くなく、ゆっくりと花を鑑賞することができた。ここにはギフチョウもおり、濃い黄色と黒の縞模様を見せながら、カタクリの花から花へと蜜を求め、飛び回っていた。カタクリの谷を上がり、山頂へ向かうと右へ「Nの谷」の標識に

導かれる。ここもカタクリの群生地で、カタクリの谷を守ろうとする地元ボランティアの方々が大勢来ておられた。淳和天皇陵の北の谷は先ほどの二つの谷よりも急勾配だが、明るい陽射しの中で、可憐な薄桃色や紫の花の色を楽しめた。

天皇陵の東側の広場で昼食を摂り、帰

りは檜の植林や雑木の中の快適な道を大原野神社まで歩いた。

大原野神社 9:30  
11:10 カタクリ群生地  
12:30 淳和天皇陵  
14:45 大原野神社



☆印の谷がカタクリ群生地